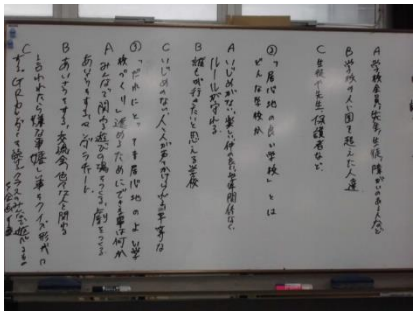
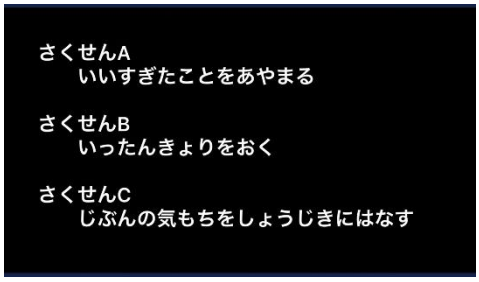
本校では、いじめ防止に向けて、以下のような児童主体の取り組みを進めています。

①代表児童の「子ども会議」への出席

企画委員の代表児童が７月に行われた「旭北中ブロック横浜子ども会議」へ参加し、「誰にとっても居心地の良い学校づくり」というテーマで、自分たちにできることを考えました。また、６年生の代表児童が 10 月に行われた「旭区子ども会議」、そして 12 月に行われた「いじめ防止市民フォーラム」へ旭区代表として出席し、横浜市内の小中学生といじめ防止に向けた取り組みについて話し合いました。そこでの学びを学校へと持ち帰り、全校児童へ向けて学校生活に関するアンケートを行いました。回答者 271 名のうち、学校を「楽しい」「とても楽しい」と回答した児童は 94％で、割合は高いですが誰にとっても学校が楽しい場所にはなっていない現状が明らかとなりました。その際の回答者の意見をもとに、現在は「いじめのない楽しい学校に向かっていくために、児童同士の関わりを増やすための手立てを考えよう」というテーマで企画委員から代表委員会へ提案しています。



②企画委員会による動画作成でいじめ防止啓発

企画委員会では SDGｓ第 10 の窓「人や国の不平等をなくそう」の達成に向け、校内でのいじめや差別を減らすことを今年度のテーマとしています。その一環として、いじめにつながる場面やその対策方法を動画にし、全校児童に考えてもらうという取組を進めています。実際にいじめにつながってしまいそうな「言葉の使い方」「男女不平等」「持ち物の違い」について、企画委員自身もロールプレイする中で、何気なく言葉を使ってしまう怖さや難しさに気付いている様子でした。今後は各学級からの感想や考えを集計し、さらなる取組へとつなげていく予定です。